

# 課題名「特殊アミノ酸輸液製剤が酸塩基平衡障害 に及ぼす因子の検討」について

## ○研究の目的

アミノレバン<sup>®</sup>点滴静注投与後の酸塩基平衡障害発現に与える影響因子を解析することにより、その因子を考慮した投与設計を可能にすること

## ○研究の方法

2005年1月1日から2010年12月31日までに、広島大学病院に入院または通院された患者のうちアミノレバン<sup>®</sup>点滴静注を投与された肝機能障害患者で18歳以上の男女を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は身長、年齢、体重などの身体所見及び、AST/ALT、Creなどの肝機能や腎機能などの検査所見です。(個人が特定出来る情報は転記しません)

(研究期間 承認後～ 2014年12月31日)

## ○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

## 不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

\* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....  
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5574

広島大学病院薬剤部

加治 裕子(研究責任者)